

飛鳥文化

6世紀中頃に仏教が公伝し、蘇我氏を中心に受容された。6世紀末に蘇我氏が物部氏を滅ぼすと、蘇我馬子・厩戸王の手で受容はさらに加速した。やがて7世紀前半には仏教の影響を受けた「飛鳥文化」が形成された。この文化には西アジア・インド・ギリシア文化との共通も見られ、仏教以外の大きな特徴と言える。

○加速する仏教受容

●仏教の成立と公伝

古代インド人は、死後に別の生をうける過程が繰り返されると信じた。

→釈迦は、この過程の繰り返し（輪廻転生）を抜けなければ、

生きる上での人の苦しみは永遠に続くと考えた。

⇒修行の果てに悟りに至り、輪廻転生から抜けだした（解脱）。

◇悟りに至った者は、如来（仏）と呼称

◇悟りに至った者（如来）の、修行中の姿は菩薩と呼称



釈迦の教えはいくつかの経典にまとめられ、仏教が成立した。

⇒各地に伝播する中で、釈迦以外の如来・菩薩が増加し、

また、宗教の目的も追加された（例：現世利益の追求）。



538（552）年、ヤマト政権に仏教が公伝した。

⇒仏と古来からの神は、あまり区別されず、

仏は他国の神（蕃神）として扱われた。

⇒ただし、仏は恵み（現世利益）を与える存在と区別した。

◇神は本来人々を苦しめる存在

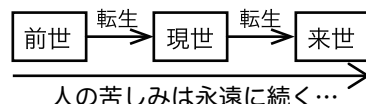


図1 輪廻転生と苦しみ

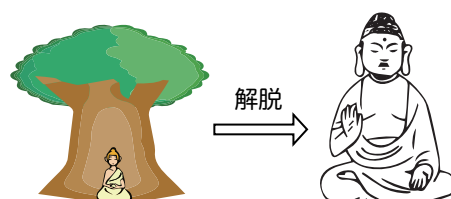


図2 菩薩・如来の区別



図3 神と仏

図4 仏を神と扱う発言

●寺院—古墳にかわる権威の象徴

豪族は祖先供養のための寺院（氏寺）を建立した。

①⁽¹⁾ _____（_____）

...⁽²⁾ _____創建の最古の寺院（奈良）

②⁽³⁾ _____

...厩戸王創建の寺院（大阪）

③⁽⁴⁾ _____（斑鳩寺）

...最古の木造建築で、厩戸王創建の寺院（奈良）

...創建時の伽藍配置は⁽⁵⁾ _____と呼ばれ、

再建された現在の寺院と異なる伽藍配置

④中宮寺

...厩戸王創建の寺院（奈良）

...半跏思惟像・天寿国 繡 帳 所蔵

⑤広隆寺

...秦 河勝創建の寺院（京都）

...半跏思惟像所蔵

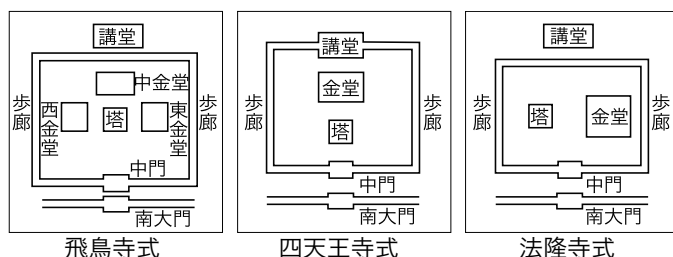


図5 伽藍配置
*寺院の堂塔の配置



図6 飛鳥寺の復元図



図7 法隆寺の柱

●仏具と仏教絵画

法隆寺⁽⁶⁾ _____ …仏像を安置する箱

中宮寺⁽⁷⁾ _____ …仏の世界（極楽浄土）と、
厩戸王の往生の様子を描く刺 繍

◇往生^{おうじょう}…独力での解脱は常人には難しいため、
仏の直接指導を希求して、死後に仏の世界へ往くこと



図8 玉虫厨子



図9 天寿国繡帳

●仏像の2つの様式と共通点

<北魏様式>

鞍作鳥（止利仏師）一派の作品

⇒特徴は左右対称の幾何学的な衣文

飛鳥寺⁽⁸⁾ _____

法隆寺金堂⁽⁹⁾ _____

法隆寺夢殿⁽¹⁰⁾ _____



図10 釈迦如来像



図11 釈迦三尊像



図12 救世観音像

共通点は、ギリシア彫刻の表現「アルカイック・スマイル（古拙の微笑）」

飛鳥文化の仏像には、どちらの様式にもこの表現が散見

<百済・南朝様式>

鞍作鳥一派以外の作品

⇒特徴は変化する衣文で、自然な姿を表現

法隆寺⁽¹¹⁾ _____

中宮寺⁽¹²⁾ _____

広隆寺⁽¹³⁾ _____

◇半跏思惟…瞑想する姿



図13 ギリシア彫刻

唇の両端を少し上げ、
不自然だが幸福感を表現



図14 百済観音像



図15 半跏思惟像



図16 半跏思惟像

●経典研究

⁽¹⁴⁾ _____ …3つの経典（法華経・維摩経^{ゆいま}・勝鬘経^{しょうまん}）に対する厩戸王の注釈書の総称

○仏教以外の様相

●散見するギリシア文化

シルク＝ロード経由で、西の文化が伝来した。

⇒柱の中央に膨らみをもたせるエンタシスや、

壁に描く茎・蔓の文様の忍唐唐草文様がある。

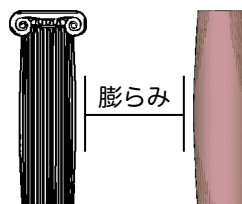


図17 パルテノン神殿の柱（左）
法隆寺の柱（右）



図18 忍冬唐草文様

●様々な技術の伝来

⁽¹⁵⁾ _____ …暦法を伝えた⁽¹⁶⁾ _____ の僧

⁽¹⁷⁾ _____ …彩色・紙・墨の製法を伝えた⁽¹⁸⁾ _____ の僧